

# CASBEE<sup>®</sup> 新築 [簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築 (簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2008(v.3.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	百合が丘団地	階数	地上5F
建設地	京都府宮津市	構造	RC造
用途地域	第1種中高層住居占用地域	平均居住人員	4人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2009年3月 予定	評価の実施日	2008年3月30日
敷地面積	3,061 m <sup>2</sup>	作成者	二谷 正一
建築面積	831 m <sup>2</sup>	確認日	2008年7月10日
延床面積	2,859 m <sup>2</sup>	確認者	岸 弘



### 2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 大項目の評価 (レーダーチャート)

### 2-3 ライフサイクルCO<sub>2</sub> (温暖化影響チャート)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物 (参照値) と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub> 排出量の目安で示したものです

### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q 環境品質 Q のスコア = 2.8**

#### Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.1

#### Q2 サービス性能 Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境 (敷地内) Q3のスコア = 2.5

**LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 3.0**

#### LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.0

#### LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.1

#### LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。	注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される  
 ■LCCO<sub>2</sub>の算定条件等については、「LCCO<sub>2</sub>算定条件シート」を参照されたい